



砂浜クリーン大作戦



砂浜をキレイにして、愛着を育てる。

ビーチを回りながら、ゴミ拾いをします。拾ったゴミは分類し、どんなゴミが多いのか？誰が捨てたのか？活動を通して考えることで身近な環境に関心を持つきっかけにもなります。

対象 幼児～大人
場所 砂浜
時間 3時間

2. 2. クラムの前に...

1. 用意するもの

参加者(人数分)

- ① ゴミ袋(45ℓ 前後)
漂着物の収集用
- ② 軍手
- ③ トング
- ④ バインダー
- ⑤ 筆記用具

スタッフ

- ⑥ ゴミ調査シート
※ココがポイント参照
- ⑦ 吊りはかり
ゴミの重量測定用
- ⑧ 笛や鈴
参加者の集合時に使用

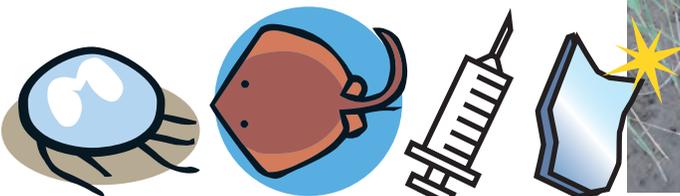


※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。

2. 事前の準備

危険を予測しよう

・海には危険な物や生物がたくさんあります。現場の状況を把握し、危険を避けましょう。



4 死んだクラゲも毒針が！ アカイイ 注射器 ガラス 投棄されたガスボンベ



範囲を決めよう

- ・実施範囲の確認は必ず行いましょう。
- ・参加者の行動を把握できるように安全管理担当者置き、参加者が夢中になってもはぐれないように注意しましょう。

2. 日くらの本番!

1. 参加者にルールを伝えよう! (約10分)

参加者がそろい挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。実物や写真を使って危険物を説明すると、参加者にも伝わりやすくなります。



2. クリーン大作戦開始! (約120分)

ゴミ回収の始まりです。参加者が範囲の中で安全に活動できるようにスタッフは危険物に気を配りながら実施してください。安全管理担当者は参加者の行動把握に努めて、はぐれたりする参加者がいないように注意します。終了5分前に予鈴を行うと円滑に集合できます。



3. 拾ったゴミを調査! (約50分)

① ゴミを分類しよう

ゴミ調査シート(下参照)に合わせてゴミを分類し、それぞれの数や重さを測ります。

測った結果はメモするほか、参加者全員に共有しやすいように、砂浜などに書きます。

② 結果について話そう

今回の調査結果を共有しながら、話し合しましょう。ゴミはどこから来たか、ゴミが多いと生物にどんな影響があるか等、ゴミを通じて多くのことに気付けるはずです。

なお終了後、集めたゴミは分別して処分します。また自然物由来の漂着物に関しては、生物のエサや棲み家になることもありますので、砂浜の端にまとめて置いておきましょう。



ココがポイント 調査シートを作ろう

拾うものをまとめやすいようにあらかじめ分類をまとめたワークシートがあると便利です。

ゴミを分別しながら、数や重さを記録していきましょう。定期的にも実施する際も、その砂浜の傾向が確認できるので便利です。

ゴミ調査シート 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 場所 _____

○自然由来の物

木の葉	流木	他の植物	動物の死骸	その他
-----	----	------	-------	-----

○人工物由来のゴミ

ボーイ捨て系のゴミ	タバコ	ライター	ペットボトル	ピン	缶
	食器類	釣り具	ゴミ袋	花火	雑誌
不法投棄のゴミ	家電	電球・蛍光灯	釘・針金	自転車系	自動車系
	家具	建築資材	生活雑貨	おもちゃ	衣服